一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務	事業名	食育推進事業	事業コート゛	2278			
担当課等	所属名	農林部 農政課			担当係名		
	課長名	小原俊彦	担当者名	吉田 看	 代子	電話番号	6046

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	エーセ 7 充世の振興		施策	エキャ 7 恵 井 孝 の 振 卿	コード				
		活力ある産業の振興	5	心來	活力ある農林業の振興 	1				
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 関連予算 一般会計 6款 1項 3目 食育推進事業							
	特記事項									
事業期間	○ 単年度	• 1 1 × 11 11 0	∓度繰返							
事務事業の概要	概要 食育の重要性が高まっていることから、食育に関する施策を総合的かつ積極的に推進することを目的として策定された「盛岡市食 推進計画」に基づき、食育を計画的に推進する。									
根拠法令等	食育基本法									

この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

平成17年に策定された食育基本法に基づき、平成18年から関係課での作業を進めて平成20年度に盛岡市食育推進計画が策定された。計画策定後、計画に基づいて食育を推進することとなった。

この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか

農業の面だけでなく健康や教育など多分野に渡って関わってくる食育については、議会からの関心も高い。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか

状況の変化について、法令上等の変化はないが、社会的に食に関わる様々な問題が起きており、国民の食の安全・安心に対する関心がますます 高まっていることから、本事業の持つ役割の重要性は増すものと思われる。また、計画策定が完了したので、今後は食育の推進と市民への啓発が重要になってくると思われる。

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を,何を対象	市民	⇒	②対象指標	A. 市民	単 位	人
としているのか)			(対象の大きさを 示す指標)	В.	単 位	
				C.	単 位	
③手段 (事務事業の内	22年度実績(22年度に行った主な活動) 食育講座の開催	⇒	④活動指標	A. 会議数	単 位	回
容、やり方、手順)	23年度計画(23年度に計画している主な活動)		(事務事業の活動 量を示す指標)	B. 食育関連イベント数	単 位	回
	食育講座の開催			C.	単 位	
(この事業により 対象をどのよう! 変えるのか)	計画書の内容を広く市民や事業者に周知することにより、食育を通じて、健康で文化的な生活を過ごすことが、出来るよう促していく。農業分野においては、地様産品をは、といる、大学のでは、といい、世界では、大学のでは、これが、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を 示す指標)	A. 食育関連イベントへの参加者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単 位	人
変えるのか)	使った郷土料理講習会を実施することにより、地産地消 への理解を促す。		7 1日1 赤 /	B. 【指標の性格: 上げる 下げる 維持する】	単 位	
				C. 【指標の性格: 上げる 下げる 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業 の意図:上位の 基本事業にどの ように貢献する か)	自立が図られる	*	⑧上位成果 指標 (上位基本事業の成果指標)	都市·農山村交流人口(単位:人) 農業純生産額(単位:百万円) 林業純生産額(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象	市民	人	297592	297,267	298,000	298148	298000	298000	
指標A									298000
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	会議数	□	26	3	3	3	3	3	24年度
活動 指標B	食育関連イベント数	回	-	1	3	3	3	3	24 年度 3
活動 指標C									年度
成果 指標A	食育関連イベントへの参加者数	人	-	50	120	85	100	110	24 年度
									85
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	34	36	31	31	31	31	****
財源	4a	千円							****
内訳	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	0	36	31	31	31	31	****
	⑧その他	千円	34						****
	合 計(④~8) (=A)	千円	34	36	31	31	31	31	****
	延べ業務時間数	時間	500	260	260	250	250	250	****
耶	戦員人件費 (B) (臨時職員賃金は, 事務費に含む)	千円	2,000	1,040	1,040	1,000	1,000	1,000	****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	2,034	1,076	1,071	1,031	1,031	1,031	****

3. 事務事業の評価(See)

必要	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びつ いていますか?	見直す余地がある⇒ 4. 事務事業の改革案へ■ 結びついている
必要性評価		□
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか? 税金を使って達成する目的ですか?	見直す余地がある⇒ 4. 事務事業の改革案へ妥当である
		└「妥当」とする理由: ● 法定事務である ○ 内部管理事務である ○ その他
		理由:
	③対象の妥当性対象の設定は現状のままでいいですか? 広げられませんか? また絞らなくてよいですか?	拡大または絞る余地がある
		□「妥当」とする理由:
		理由:
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか?	 拡大または絞ることができる 現状で妥当である ⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		□「妥当」とする理由: ● 法定事務である ○ その他 理由:
\vdash	⑤成果の向上余地	
有効性評価	成果がもっと向上する余地はありますか?	
謹		その内容:予算のかからない事業を工夫し、事業の実施回数を増やすことで市民への啓発の機会が増加し、成果向上の余地がある。
11Ш	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか?	影響がない⇒ 4. 事務事業の改革案へ● 影響がある
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国, 県, 市の内部, 民間)はありませんか?	
		事業名:食育計画推進事業等
		※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか?
		統廃合・連携検討 できる できる できない
		その内容:庁内の関係各課で庁内ネットワークを作っており、各課それぞれの取組みを連携してイベントなどを 行っていくことは可能。
効率性評	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありませんか?	○ 削減余地がある● 削減できない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ
価		理由:事業費は、食育関係講座等を開催するための講師謝金と材料費であり、削減すると講座自体が開催困難となるため
	③人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか?	○ 削減余地がある● 削減できない
		理由:食・食育に対する関心は高い状態であるため、今後事業等が増える可能性があるため
公平性評	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか?	適正化余地がある 公平・公正である 特定の受益者はいない はいない
価		理由:
1	① 孝田負担の海正化を地	
	①費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか?	適正化余地がある公平・公正である申特定の受益者はいない⇒ 4. 事務事業の改革案へ
		理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

・・・ 学研争系の収集系(Plan)

① 改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)
※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
食育に係る事業は庁内でも多分野にわたり、関係各課では食育の目的・対象者が異なるが、同じ手段で行う事業については連携して行うことにより成果の向上が期待できる。
② 改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか?
「関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
各課で単独で行っている事業の連携・調整が必要。

5. 課長意見

	(1)一次評価者と	こしての評価約	吉果		(2)全体総括(振り返り, 反省点)			
- 次評価	① 必要性:	● 妥当	○ 見直し余地あり		関係課と連携して推進及び進行管理を行うことが必要である。			
価	② 有効性 :	○ 妥当	● 見直し余地あり	" <mark>-</mark> /				
	③ 効率性 :	● 妥当	○ 見直し余地あり					
	④ 公平性 :	● 妥当	○ 見直し余地あり					
	(3)今後の事務の	の方向性(改革	革 改善案)	<u> </u>				
今後の方向性-	終了 🔀 継組 🗆 廃止 🗆 休』	-	□ 現状維持(従来通りで特に □ 改革改善を行う □ 事業統廃合・連携	改革改善	らない)			
の方向性と改革改善案								
案 方向付けの理由と改革改善の内容								
	盛岡市食育推進計画に基づき、庁内関係課と連携して推進することとして、継続する。							